

## 第三者評価結果の公表事項(児童養護施設)

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

### ②評価調査者研修修了番号

S16056 SK15226

### ③施設の情報

名称：愛媛慈恵会	種別：児童養護施設
代表者氏名：施設長 山下 正志	定員（利用人数）：105（58）名
所在地：松山市東本二丁目13-3	
TEL：089-921-1035	ホームページ：なし
【施設の概要】	
開設年月日 昭和27年5月31日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 愛媛慈恵会	
職員数	常勤職員 34名 非常勤職員 2名
専門職員	（専門職の名称）
	臨床心理士 1名 社会福祉士 1名
	看護師 1名 保育士 7名
	栄養士 1名 調理師 4名
施設・設備の概要	（居室数）40室 （設備等） 鉄筋コンクリート造3階建て

### ④理念・基本方針

理念	慈恵会は 「自ら考え行動する」 子どもと職員のチームです
基本方針	現在策定中

### ⑤施設の特徴的な取組

施設長が交代し、下からの意見を吸い上げて全体をまとめていく（ボトムアップ）ための新しい取組みを行っている。また、パソコンを積極的に導入し、職員の業務負担の軽減に取り組んでいる。

ボトムアップの具体的な取組みとしては、子どもの意見の集約のために子ども会を積極的に開催したり、各部署が集まって会議を行う「コアタイム」や各種委員会などを開催したりして、意見の集約を行っている。

## ⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年12月20日（契約日）～ 平成30年3月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成26年度）

## ⑦総評

### ◇特に評価の高い点

児童養護施設愛媛慈恵会は、明治34年に慈恵救済の目的で社会事業を興し、孤児収容施設として松山市鉄砲町に開設された。昭和27年に社会福祉法人愛媛慈恵会に改組し、保護者がいない等の理由により十分な養育が行き届かない子どもの支援に携わり現在に至っている。

理念にあるように、「子どもと職員」が一緒になって施設をよくしていこうという姿勢が随所に見受けられ、日々サービスの質の向上に取り組んでいる。特に子ども会の意見をよく聞き、児童委員会（子どもの代表者会）などで協議を行い、迅速に改善できるように努めている。意見や要望が実現することで施設や職員への信頼感が増し、前回の受審時と比べて、子どもの表情が明るくなっていると感じられる。

### ◇改善を求められる点

理念に基づく基本方針の早期の策定が望まれる。また、マニュアル（プライバシー保護・リスクマネジメント）の整備やBCP計画（事業継続計画）等の策定、養育・支援についての標準的な実施方法の文書化が望まれる。さらに施設運営の透明化を進めるための取組みを期待したい。

## ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

評価調査者の方には、丁寧に分かりやすく評価して頂き、誠にありがとうございました。特に、子どもの表情が明るくなったと言われたときは、今までの苦勞が報われた思いでした。今後は、指摘された課題を真摯に受け止め、地域に貢献できる施設として、更なる向上を目指したいと思っております。

## ⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 第三者評価結果（児童養護施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 41 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 共通評価基準（45 項目）

#### 評価対象 I 養育・支援の基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・ <b>③</b>
<コメント> 前回策定されていなかった理念は策定されている。基本方針は明文化されていない。今後基本方針の策定が望まれる。		

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・ <b>②</b> ・c
<コメント> 児童相談所や子育て支援課に出向き、情報の収集をしている。得られた情報の分析・まとめ等を期待したい。		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・ <b>②</b> ・c
<コメント> 事務長が担当者として経営課題を整理し、理事会で協議している。必要に応じて理事長と施設長が経営状況や、改善すべき課題などを共有するよう努めている。今後は分析結果を職員に周知することを期待したい。		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・長期計画を策定しているが、職員育成と既存の施設整備及び新規施設整備事業の実施計画に限られている。基本方針の策定及びその実現に向けた具体的な取組みについての計画を期待したい。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・長期計画の具現化と内容の整理を期待したい。さらに中・長期計画の内容と単年度計画の統一性と整合性を期待したい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全職員が委員会（コンセプト会議）に所属しており、事業計画の策定や実施状況の把握と評価・見直しに参画し理解している。今後は、事業計画の実施状況があらかじめ定められた時期・手順によって見直すことを期待したい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎月の家庭通信に主な事業計画を掲載し、保護者への周知が望まれる。</p>		

### I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年自己評価を行ない、定期的に第三者評価も受審している。今後は組織的にPDCAサイクルに基づく養育・支援の質の向上に関する取組みを期待したい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>集約された意見を班長会議で協議し、改善計画などを立てている。班長会議で決定した内容を実施する仕組みについて、その機能が発揮できる取組みを期待したい。</p>		

## 評価対象Ⅱ 施設の運営管理

### Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>合同職員会や班長会議などに出席して施設長としての役割と責任を表明している。今後は、施設長の役割と責任が明示された職務分掌表の作成を期待したい。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設長は研修会などで収集した情報や新聞記事などを配布して、職員朝会や合同職員会で周知伝達に努めている。さらなるコンプライアンスの徹底を期待したい。</p>		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>課題の改善に向けた対策を検討するよう関係職員に指示を出し、改善と変革に向けて積極的に取り組んでいる。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>パソコンを導入し、事務の合理化と情報の共有化の推進に努めている。職員に欠員が生じた場合は、迅速に補充するなどして職員定数の充足に努めている。</p>		

### Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の採用については、施設実習に来た学生に直接求人活動を行なっている。今後は、計画的な人材の確保をすることを期待したい。</p>		

15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>人事考査基準は作成中である。また、職員人材委員会において人材育成プログラムを作成中である。早期に完成することを期待したい。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>心理士による全職員を対象にしたメンタルヘルスケアを実施し、状況などの把握に努めている。職員を対象にした意見箱を設置して、職員や職場環境に関する情報の収集に努めている。それらの結果は施設長に報告されている。今後は職員が有給休暇を取得しやすい環境を作ることを期待したい。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員一人ひとりの目標管理のための仕組みを構築するため、「期待される職員像」の策定を期待したい。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自主的な課題の発見を促す等、職員の希望を優先した外部研修への参加にとどまっている。施設としての教育・研修などに関する方針や計画の策定を期待したい。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一般的な研修の機会は平等に確保されている。単年度事業計画に、職員一人ひとりを対象にした教育・研修計画が策定されるよう期待したい。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>社会福祉士実習の受け入れ要領は策定されている。保育士実習受け入れに関しては実習を受け入れるうえでの留意点の内容にとどまっている。それぞれの実習の目的に即した受け入れマニュアルの整備を期待したい。</p>		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>収支決算・単年度事業計画・苦情解決状況は施設会開放などで公開している。ホームページの開設に向けた準備が進められている。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>税理士を監事に招聘し財務及び経営管理などについての助言を受け、適正な経営運営に向けた取組が行われている。今後は外部監査が行われることが望まれる。</p>		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域主催の運動会や祭りなどの行事には積極的に参加している。園主催の行事に老人施設を招待している。今後は地域とのかかわり方について、基本的な考え方を文書化することを期待したい。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ボランティアの受け入れに関するマニュアルは作成されていないが、受け入れ担当者を決めて子どもの学習支援や各種行事に関するボランティアを積極的に受け入れている。ボランティア受け入れのためのマニュアルの整備を期待したい。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域や学校との連絡会には積極的に出席して、情報の収集と施設紹介などを行い理解を図っている。地域の社会資源リストの策定を期待したい。</p>		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の老人会のグランドゴルフの練習場としてグランドを開放している。地域交流ホームは、選挙の投票会場や災害時の緊急避難場所として市の指定を受ける等地域に還元している。今後は施設の専門性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催することを期待したい。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地元青少年連絡協議会などの会議に積極的に参加し、地域の子育て支援活動に関する情報の収集に努めると共に、主任児童委員などとの連携を深めている。今後は、地域住民に対する相談事業を実施することを期待したい。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

### Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>QOLの向上に向け施設の課題を明確にするためフィッシュボーン（課題解決の方法の一つの技法）を作成して、施設全体の意識形成に努めている。子どもを尊重した養育・支援を目指して、班（職員）ごとで協議している。今後は、子どもを尊重した養育・支援の実施についての基本姿勢を明示されることを期待したい。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援提供が行われている。	a・b・ <b>c</b>
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>プライバシー保護に関するマニュアルの策定が望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(2) 養育・支援の提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>関係機関からの要請を受けて、施設見学やショートステイを受け入れている。理念・基本方針の施設要覧への記載を期待したい。</p>		



31	Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・ <b>㉑</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入所の際は、施設要覧を使用して説明している。「入所のしおり」等を作成し、さらに分かりやすい説明を期待したい。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a・ <b>㉑</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>措置変更などにあたっては、ケース会議を開催し、児童相談所と協議して措置変更の時期などを決定している。引継ぎ文書はあるが定型化されていない。今後は養育・支援の継続性に配慮した手順と引き継ぎ文書を定めることを期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	<b>㉑</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子ども会や児童委員会に職員が参加して、子どもたちの意見や要望を把握することに努めている。その結果を職員全員で把握し協議するように努めている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・ <b>㉑</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>苦情解決に向けたマニュアルが整備されている。苦情の申告があれば手順に従って適切に対応している。結果は会報では公開している。子どもや保護者に周知するような仕組みが作られることを期待したい。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a・ <b>㉑</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設長が理念を表明することで話しやすい雰囲気形成されている。「意見箱」を適切な場所へ再設置することが望まれる。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ <b>㉑</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>相談や意見を受けた際の記録・報告・対応策などのマニュアルの整備を期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・ <b>㉑</b>
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事故発生時の対応と安全確保等に関するマニュアルの策定が望まれる。</p>		

38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>手洗いや爪切りの対応手順を指導し、洗面所には手の洗い方に関するパンフレットを掲示している。感染症マニュアルにおいて、看護師の不在時も適切な初期対応ができるように、内容の改定を期待したい。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>災害時における安全確保と、養育・支援の継続に向けた事業継続計画（BCP）の策定が望まれる。</p>		

### Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が提供されている。	a・b・ <b>③</b>
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>養育・支援についての標準的な実施方法が文書化されていない。早急な策定が望まれる。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・ <b>③</b>
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>養育・支援についての標準的な実施方法が策定と共に、見直しする仕組みの確立が望まれる。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>基幹的職員（自立支援計画のケースマネジメントを行ったり、関係機関との連携において中心的な役割を担ったり、他の職員に対する適切な指導及び教育並びにメンタルヘルスに関する支援を行ったりすることを目的として配置される職員こと）を自立支援計画の策定の責任者としている。自立支援計画に心理士からの意見が反映されていない。今後は、個々の事情に応じた支援内容を含めた自立支援計画の策定を期待したい。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に支援実施計画の評価・見直しを行っている。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>半年ごとに計画の評価・見直しが行われている。子ども・保護者・関係機関の意見や要望も適切に計画に反映されている。今後は、家庭支援専門相談員や心理士の意見が反映されることを期待したい。</p>		

Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>パソコンを導入し、情報の共有化がされている。今後はさらなる情報の共有化のために、パソコンの増設が計画されている。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個人情報保護規定を定め適切に管理されている。情報開示を求められた際の規定などの策定を期待したい。</p>		

## 内容評価基準（41 項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施」の付加項目

### A-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
A-1-(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮		
A①	A-1-(1)-① 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「子どもたちの育成のため、より良い環境づくりに努める」という施設の考えを全職員が理解して実践している。</p>		
A②	A-1-(1)-② 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>班会議や合同職員会で協議をして、個々の実情に応じて慎重に対応している。今後は、困難なケースについても積極的な取組みを期待したい。</p>		
A-1-(2) 権利についての説明		
A③	A-1-(2)-① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日常生活の中や子ども会などの場面を通して、自己と他者の権利と義務などについて説明するようにしている。</p>		
A-1-(3) 他者の尊重		
A④	A-1-(3)-① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>目標達成に向け、協働して活動する中で助け合い、認め合い、協力し合う態度を促進できるように、自己選択ができる各種クラブを開設して支援している。</p>		
A-1-(4) 被措置児童等虐待対応		
A⑤	A-1-(4)-① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	Ⓐ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>就業規則の規定に体罰などの禁止を明記しており、厳正に処分する仕組みがある。全職員に就業規則を配布し、周知を図っている。</p>		

A⑥	A-1-(4)-② 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員にとどまらず子どもも含めた言葉の暴力などについて、話し合いが行われている。各種委員会の議題にも取り上げて協議し見直しを図っている。</p>		
A⑦	A-1-(4)-③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・ <b>⑦</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>合同職員会などで、被措置児童等虐待対応ガイドラインに関する説明を行い、職員への周知を図っている。対応マニュアルの策定が望まれる。</p>		
A-1-(5) 思想や信教の自由の保障		
A⑧	A-1-(5)-① 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。	<b>⑧</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもや保護者の思想や信教の自由は保障されており、施設生活における活動の制限や参加を制約したような事例はない。</p>		
A-1-(6) 子どもの意向や主体性への配慮		
A⑨	A-1-(6)-① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	a・ <b>⑨</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもと保護者の希望があれば、入所前の施設見学を受け入れている。見学や説明を通して不安を解消するよう配慮している。</p>		
A⑩	A-1-(6)-② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	<b>⑩</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「子どもと職員のチーム」という理念の具現化に向け、子ども会の意見をよく聞き児童委員会などで協議を行い、迅速に改善できるように努めている。意見や要望が実現することで施設や職員への信頼感が増し、子どもからの不満は減少している。</p>		
A-1-(7) 主体性、自律性を尊重した日常生活		
A⑪	A-1-(7)-① 日々の暮らしや、余暇の過ごし方など健全な生活のあり方について、子ども自身が主体的に考え生活できるよう支援している。	<b>⑪</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子ども会や児童委員会を開催し、意見や要望が出しやすい環境が整備されている。子どもの発案による行事の立案や地域行事などへの参加、自己選択できるクラブ活動も開設されており、インターネットの閲覧などもできる。</p>		

A⑫	A-1-(7)-② 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a・ <b>⑬</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>高校生は金銭を自分で管理し、日用品や学用品を含めて自分で購入し、計画的にお金を使用する体験をさせることで金銭の自己管理体験を支援している。今後は高校生を対象にした自立訓練として、一定の生活費の中での生活体験の実践を期待したい。</p>		
A-1-(8) 継続性とアフターケア		
A⑬	A-1-(8)-① 家庭復帰にあたって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう復帰後の支援を行っている。	<b>⑭</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>家庭復帰後や退所後も電話や家庭訪問を実施し、生活の様子を確認し助言を行うことで安定した生活が送れるように支援している。得た情報は記録し、児童相談所と連携した支援に努めている。</p>		
A⑭	A-1-(8)-② できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	<b>⑮</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>高校中退の子どもを定時制高校へ進路変更させ、卒業に向けた支援の継続に努めている。夜間大学に進学した子どもは20歳まで措置延長をして、自立に向けた支援を行った。また高校に進学できなかった子どもは、退所後の進路確保と自立に向けた支援を行った。</p>		
A⑮	A-1-(8)-③ 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a・ <b>⑯</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>退所後に相談できる窓口職員は特に決めていない。OBとの交流会を開催し悩みや相談に乗っている。必要に応じて家庭訪問を行い助言や激励を行っている。</p>		

## A-2 養育・支援の質の確保

A-2-(1) 養育・支援の基本		
A⑯	A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	<b>⑰</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日々の子どもの言動や保護者との関係、必要に応じて子どもの生活歴について、班会議・各委員会・合同職員会などで情報交換をし、現在の子どもの感情や言動を受け入れようと努めている。</p>		

A⑰	A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a・ <b>⑬</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日常生活の中で個別に触れあえる時間を確保し、基本的欲求の把握に努めている。突発的な子どもの要求に対して、状況や内容によっては一定の裁量権をもって、勤務職員の判断で対応し、基本的欲求が充足するように努めている。</p>		
A⑱	A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a・ <b>⑬</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>目覚まし時計を使って子ども自らが起床する習慣の育成など、職員は辛抱強く見守る姿勢を心掛けている。それぞれの班の実情に応じて対応策を考えて実施し、職員は見守りの姿勢で支援するように努めている。</p>		
A⑲	A-2-(1)-④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	a・ <b>⑬</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>幼児は近隣の幼稚園に通園している。3歳児は支援プログラム（週案）を作成して施設内で保育している。その子どもの能力に応じて、特別支援学級や特別支援学校に通学させている。</p>		
A⑳	A-2-(1)-⑤ 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a・ <b>⑬</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員が「言動振り返りチェック表」を使って、日頃の自分の子どもへの接し方を振り返る機会を作っている。</p>		
A-2-(2) 食生活		
A㉑	A-2-(2)-① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	<b>⑭</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>各テーブルで担当職員と一緒に食事をするようになっており、施設長も加わり子どもと職員が食事を共にしている。食事中は子どもと職員が会話を楽しんでいる。</p>		
A㉒	A-2-(2)-② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	<b>⑭</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栄養士・調理員・班長（職員）による給食懇談会を開催し、子どもから集計したアンケート結果を活用しながら、豊かな食生活が送れるよう検討・協議されている。子どもの誕生日には子どものリクエストに応じた献立が準備されている。</p>		

A ㉓	A-2-(2)-㉓ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a・㉓・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>季節料理や郷土食なども献立に加え、行事や料理の言い伝えを栄養士が説明し、食に興味と関心を深める工夫をしている。苦手な献立の時は量を減らすなどの工夫をし、職員が共通認識をもち対応している。ナイフ・フォークの使い方等食事マナーの習得に向けた支援を期待したい。</p>		
A-2-(3) 衣生活		
A ㉔	A-2-(3)-㉑ 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a・㉓・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>高年齢児は年2回（夏と冬）自分で衣類を購入させ、自分らしさを表現することと自分の所有物であるという意識を養う支援をしている。</p>		
A-2-(4) 住生活		
A ㉕	A-2-(4)-㉑ 居室等施設全体がきれいに整美されている。	㉓・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>玄関前の通路沿いにプランターが設置されており、季節の花が植えられていて、子どもや来客者の心を和ませている。玄関や廊下もきれいに掃除がされており、気持ち良い空間が整備されている。</p>		
A ㉖	A-2-(4)-㉒ 子ども一人ひとりの居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	㉓・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・高生には個室が確保されている。小学生は相部屋となっているが、一人ひとりに机やベッド、収納スペースがあり、プライベート空間が確保されている。小規模グループホームは随所に家庭的な雰囲気が感じられるような工夫がされている。</p>		
A-2-(5) 健康と安全		
A ㉗	A-2-(5)-㉑ 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	㉓・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>手洗いの手順が洗面所に掲示されている。正しい爪の切り方について、写真付きのわかりやすく解説した資料を準備し指導している。</p>		
A ㉘	A-2-(5)-㉒ 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a・㉓・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>看護師が中心となり、健康及び発達状況を把握し、定期的に健康管理を行っている。インフルエンザの流行の時期になれば、インフルエンザの予防などについて書かれた、保健だよりを壁に掲示し意識付けをしている。</p>		



A-2-(6) 性に関する教育		
A②⑨	A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達段階に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は性教育に関する様々な研修に参加し、性教育を行う準備を行っている。年齢に応じた正しい性の知識を慎重に伝えるように努めている。今後、職員による性教育の実施を期待したい。</p>		
A-2-(7) 自己領域の確保		
A③⑩	A-2-(7)-① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一人ひとりに机・椅子・クローゼット・ベッドなどが用意されている。服・日用品などの所有については可能な限り、子どもの希望に沿えるように努めている。</p>		
A③⑪	A-2-(7)-② 成長の記録（アルバム等）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設入所後の記録に関しては、行事や日常生活の写真を撮り、アルバムに整理している。アルバムは退所時に子どもに手渡している。パソコンに写真や動画の取り込みを希望すれば対応し、閲覧ができるようにしている。保護者への写真提供は積極的にはされていない。</p>		
A-2-(8) 行動上の問題及び問題状況への対応		
A③⑫	A-2-(8)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子ども間のトラブルが生じた時には、その場で職員が仲介し、状況確認と双方のケアに当たるようにしている。興奮状態が続く場合には当事者を分離し、冷静になる時間をとっている。問題行動が生じた場合には、児童相談所と連携を取り対応し、情報を共有している。</p>		
A③⑬	A-2-(8)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもが生活する時間帯に職員を多く配置し、子どもに寄り添った支援ができるようにしている。入浴時にさりげなく身体のチェックをし、傷やあざがないかを確認している。</p>		

A ㉔	A-2-(8)-㉓ 虐待を受けた子ども等、保護者等からの強引な引き取りの可能性がある場合、子どもの安全が確保されるよう努めている。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>強引な引き取りの可能性がある子どもについては、あらかじめ担当児童福祉司と連携を図り、児童相談所と連携をして対応している。保護者から引き取りの話があれば、児童相談所に連絡を取り情報を共有している。</p>		
A-2-(9) 心理的ケア		
A ㉕	A-2-(9)-㉑ 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a・㉕・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>心理療法担当職員を配置し、心理療法室を設置している。心理的ケアを要する子どもにはプログラムを実施し、愛着形成・信頼感の回復・精神面の安定に向け支援をしている。直接処遇職員への心理に関する研修を行うことを期待したい。</p>		
A-2-(10) 学習・進学支援、進路支援等		
A ㉖	A-2-(10)-㉑ 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	㉖・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自室や空き部屋を活用して静かに学習する環境を整えている。学力に応じた学校に通学させ、必要に応じて学習ボランティアや地域の学習塾による学習支援を受けている。</p>		
A ㉗	A-2-(10)-㉒ 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	㉗・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>進路選択に関しては、子どもの気持ちを尊重すると共に「最善の利益」にかなった進路選択ができるように、保護者や児童相談所・学校と連携して支援するように努めている。</p>		
A ㉘	A-2-(10)-㉓ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	㉘・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>トリマーを目指す子どもの実習先として近所のペットショップを開拓するなど、積極的に取り組んでいる。高校生には学校の許可のもと、アルバイトを積極的に推奨している。</p>		
A-2-(11) 施設と家族との信頼関係づくり		
A ㉙	A-2-(11)-㉑ 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a・㉙・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>月例通信・電話連絡・家庭訪問などを通じて、子どもの様子や学校及び施設の行事予定を保護者に知らせ、保護者の参加や協力を得られるように努めている。</p>		

A-2-(12) 親子関係の再構築支援		
A④⑩	A-2-(12)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>家庭の状況に応じて、子どもの面会・外出・帰省を行い親子関係の再構築を図っている。家庭支援専門相談員と担当職員が家庭訪問を行い情報収集を行っている。得られた情報を施設全体で共有する仕組みづくりを期待したい。</p>		
A-2-(13) スーパービジョン体制		
A④⑪	A-2-(13)-① スーパービジョンの体制を確立し、施設の組織力の向上に取り組んでいる。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>基幹的職員が配置され、自立支援計画の作成において職員の指導等に当たっている。基幹的職員による、適切なスーパービジョン体制の確立を期待したい。</p>		